

さゝ波

滋賀県断酒同友会

発行人 西 浦 正
事務局 湖南市柑子袋1091-30
TEL 0748-72-3792
印刷所 (有)中嶋印刷所



30年 新年を迎えて

会 長 西 浦 正

あけましておめでとうございます。

会員、家族の皆さまには、平成30年戌年の新年を穏やかに迎えにいられた事、お慶び申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

私は39歳の昭和61年10月に断酒会に入会しました。生きる望みもなくし、酒の問題を起こした私に、上司から叱責の末、最後通告とも言える「身体を治せ」の言葉。断酒会に相談し紹介を受けたアルコール専門病院に入院しました。退院後、酒を止めて、生まれ変わったつもりで仕事に頑張ってみようと断酒会に入会しました。入会后、皆さんに励まされ例会出席をしていました。数ヵ月後、当時現場技術をしておりまして、会議で自分の考えを熱意をこめて述べていましたが、突然頭が真っ白になり、なぜ自分がここにいるのか、何をしているのか分からなくなりました。立ち往生です。そのときは営業マンが助け舟を出してくれ、何とか助かりました。それから気のせい体調のせいと思っていた事が、何度も起こるのです。これは病院で「あなたの脳、若いけど酷く萎縮している」と言われたことを思い起こしました。気付くとショックと、これからどうするのやと絶望を感じました。断酒会に入って生まれ変わったつもりで頑張ってみようと思ったのに、酒止めて何がええ事あるのや、酒飲んでいたときの方が頭脳はましやないか、今日は飲んでやろう、明日は飲んでやろうと一人になると考えていました。そんな時に、断酒会の先輩たちの頑張りや、おいでやの言葉、顔が浮かんで来ます。裏切れない。自分を騙しだまし例会に足を運んでいました。上司には、「自分は会社の期待に答えられない頭になりました。部署を変えて下さい」といつ言おうか悩んでいました。又仕事では、ここまで喋った、ここまで進めたと自分に言い聞かせながら仕事をしていました。そんなことで数ヶ月過ぎた頃、自分で意識しなくても会議が進行できていることをある日発見しました。無性にうれしくて、このまま断酒して頑張ろうと勇気付けられた事を思い起こします。

さて、29年度市民公開セミナー「あなたは、お酒で悩んでいませんか」を主催 滋賀県断酒同友会、共催 県立精神保健福祉センターにて2保健所、草津保健所、彦根保健所の管内で開催致します。2月守山地域、3月彦根地域です。夫々開催できます様、協力をお願い致します。

今年も例会を大事にして、皆さまにとって良い年になりますよう祈念いたします。